

会 議 記 録 (1)

会議名称	令和5年度 第2回 北本市健康・体力づくり市民会議
開会及び閉会日時	令和5年11月22日(水) 午後1時30分から午後3時まで
開催場所	文化センター 第3会議室
議長氏名	会長 本藤 寛之
出席委員(者)氏名	本藤 寛之会長、佐藤 道子副会長、岡野 浩委員、長谷川 学委員 有村 大二委員、茂木 好委員、加藤 陽一委員 関口 明委員、飯塚 忠史委員、小川 光男委員 吉田 真知代委員、矢部 明子委員、追中 るみ子委員(13名)
欠席委員(者)氏名	大塚 竜自委員
説明者の職氏名	健康づくり課 主任 市丸 裕子(保健師) 主任 柘植 加奈子(保健師) 主事 加藤 匠
事務局職員職氏名	健康推進部長 小池 智子、健康づくり課長 加藤 浩 健康づくり課 主幹 横森 正昭、主任 市丸 裕子 主任 柘植 加奈子、主事 加藤 匠
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 第二期北本市みんないきいき！健康なまちづくりプラン(健康増進計画・食育推進計画・歯科口腔保健推進計画)(案)について (2) 第二期北本市みんないきいき！健康なまちづくりプラン(健康増進計画・食育推進計画・歯科口腔保健推進計画)概要版(骨子案)について (3) 第二期北本市自殺対策推進計画(案)について (4) その他 4 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1 第二期北本市みんないきいき！健康なまちづくりプラン(健康増進計画・食育推進計画・歯科口腔保健推進計画)(案) ・ 資料2 第二期北本市みんないきいき！健康なまちづくりプラン(健康増進計画・食育推進計画・歯科口腔保健推進計画)概要版(骨子案) ・ 資料3 第二期北本市自殺対策推進計画(案) ・ 参考資料1 「北本市みんないきいき！健康なまちづくりプラン」実施計画(令和元年度～令和4年度)

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>1 開会 配布資料について確認</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事 (1) 「第二期北本市みんないきいき！健康なまちづくりプラン（健康増進計画・食育推進計画・歯科口腔保健推進計画）（案）」について</p>
事務局	【配布資料に基づき説明（資料1）】
議長	分野①－1 栄養・食生活について、佐藤委員より何か意見はあるか。
副議長	関係機関・団体ができることの①各種料理教室などの開催を通じて、食生活改善普及活動の活性化を図りますの場・主体が食生活改善推進委員となっているが、こども食堂やフードバンク等他にもいろいろな団体関わっている。食生活改善推進委員等とした方が良いのではないか。また、他の箇所でも同様に食生活改善推進委員等と修正した方が良いのではないか。
事務局	ご指摘のとおりと考えます。そのように修正します。
議長	分野②－2 歯と口の健康について、岡野委員より何か意見はあるか。
岡野委員	取組項目としては正しいと考える。ただ、現状として成人歯科健診の受診者数が減少しているといった課題がある。個別健診の方が精度は高いが、敷居が高かったのではないかと感じている。市民が受けやすい方法を、市と連携して模索していきたい。国でも、国民全員に歯科健診を義務付けると言った動きがあり、国の動向を踏まえて検討したい。
事務局	個別歯科健診の受診者減少につきましては、市の方でも課題であると感じています。受診勧奨や歯科保健の重要性について普及啓発をしています。今後も歯科医師会にご協力いただければと考えています。
茂木委員	分野②－1 休養・こころの健康 関係機関・団体ができることの①に地域で声をかけ、悩みのある人の話を聞き、必要な時には行政につなげますとあるが、行政だけでなく関係機関や専門機関を追加した方が良いのではないか。
事務局	ご指摘のとおりと考えます。関係機関等を追加します。
吉田委員	分野①－1 栄養・食生活 「早寝・早起き・朝ごはん」を実践しようや、分野①－3 喫煙・飲酒 未成年や妊娠中の飲酒・喫煙は絶対にやめようの対象者に成人期が含まれていないが、理由はあるのか。

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>「早寝・早起き・朝ごはん」につきましては、幼少期からの習慣づけが大切であると考え、乳幼児、学童・思春期としました。喫煙・飲酒につきましては、成人期では適度な飲酒はストレス緩和等の効果もあるため、この様な表記としました。妊婦についてはご指摘のとおりと考えます。ご指摘いただいた箇所も含め、全体的な表記の仕方につきましては、再度検討させていただきます。</p>
飯塚委員	<p>分野①ー２ 身体活動・運動の外遊びやいろいろな運動・スポーツを経験し、身体を動かす習慣を身につけようについても、乳幼児、学童・思春期が対象となっているが、同様に成人期を対象としなかったのは何故か。</p>
事務局	<p>外遊びと習慣化をするといった内容から、乳幼児、学童・思春期を対象としました。成人期・高齢期につきましては、日常生活の中で歩くことを意識して身体活動量を増やそうで対象としています。また、運動を習慣化し、体力を維持・向上しようでは全世代を対象としており、ここでカバーできると考えました。</p>
吉田委員	<p>生活の習慣化においては、幼少期からの取組が大切であるとする。ただ、計画をみたときに市民の人が、なぜ対象となっていないのかと疑問に思う部分はあると考える。表記方法については、そのような疑問がないような形を検討した方がよい。</p>
事務局	<p>市民の人が疑問を感じるような表記を再度検討します。</p>
茂木委員	<p>成果指標の中で、3歳児健康診査でむし歯が無い子どもの割合を増やす等すでに目標値を達成している指標がいくつかあるが、目標値は変更しないのか。</p>
事務局	<p>目標値としましては、第1期計画同様の指標をそのまま使用しています。むし歯のある児が1人いるだけで、数値に大きく影響してしまうといった現状がありますので、記載のとおりとしています。</p>
茂木委員	<p>資料1の22ページに掲載されている医科入院医療費における年代別の生活習慣病の割合のグラフが、白黒では分かりづらいと感じる。</p>
事務局	<p>白黒でも分かりやすくなるよう、工夫します。</p>
事務局	<p>なお、前回の会議において、ライフコース別取組について、女性のみではなく、男性も加えた方がよいとの意見をいただきました。事務局で再度検討した結果、女性は、妊娠出産によるホルモンバランスの変化や家庭生活の変化があるため、ライフコース別取組には女性のみ記載とさせていただきました。しかし、男性も、国民健康保険の特定健康診査の受診率が低いといった課題があるため、ライフコース別に記載はしませんが、引き続き健康づくり事業を行ってまいります。</p>

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>(2) 「第二期北本市みんないきいき健康なまちづくりプラン（健康増進計画・食育推進計画・歯科口腔保健推進計画）概要版（骨子案）」について</p> <p>【配布資料に基づき説明（資料2）】</p> <p>概要版につきましては、作成次第、委員の方に郵送させていただきます。送付時に意見書を同封しますので、その際に意見をいただければと思います。</p>
事務局	<p>(3) 「第二期北本市自殺対策推進計画（案）」について</p> <p>【資料に基づき説明（資料3）】</p>
茂木委員	<p>30ページの高齢者等のごみ出し支援制度について、認知症の独居の方を対象者に加えてほしい。また、事業名で民生委員・児童委員があるが、民生委員・児童委員による見守りといった記載にするとよいのではないか。</p>
事務局	<p>高齢者等のごみ出し支援制度の対象者拡大に関する御意見につきましては、担当課に報告をさせていただきます。民生委員・児童委員の記載につきましては、そのように変更させていただきます。</p>
副議長	<p>あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人は誰ですかの調査で、女性では友人を相談者としてあげる割合が多い。相談を受けている市民の人の救いとなるよう、ゲートキーパー養成研修を受講できる機会があると良いと考える。自身もそういった機会があれば受講したい。ゲートキーパー養成研修が事業として挙げられているが、市民に対し、具体的にいつどのように研修が行われているのか知りたい。</p>
事務局	<p>現時点では、市民を対象としたゲートキーパー養成研修は実施していませんが、今後対象を市民にも拡大していきたいと考え、計画に盛り込んでいます。今年度は、学童支援員や民生委員の方を対象とした養成を計画しており、今後徐々に対象者を拡大していく予定です。講座を行う際には、広報等で周知をさせていただきます。</p> <p>北本市のゲートキーパー養成研修では、自殺未遂の経験がある当事者から経験を語っていただき、何ができるのかということと一緒に考えるといった内容の研修を行っていることが特徴です。周囲の方が背負い込みすぎないように、相談を受けている方のケアといった面を大切にして研修を実施していきたいと考えます。</p>
議長	<p>ケアマネジャーについても、ゲートキーパー養成研修の対象者に含めたほうが良いのではないかと。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおりと考えます。追加します。</p>

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
小川委員	<p>施策の評価指標となっている「北本市まちづくりアンケート」について、現状値と目標値の間に乖離があり、なかなか現状値に近づけないといった課題がある。評価指標として、このアンケートだけでよいのか、またアンケートの対象者は何人であるのか知りたい。</p>
事務局	<p>「北本市まちづくりアンケート」は、2000人を対象に毎年実施しています。何を評価指標として、市民のニーズをどのように把握していくのかといった点につきましては、今後も検討していく必要があると考えますが、まずは、北本市まちづくりアンケートや介護予防・日常生活圏域ニーズ調査にて評価をしていきたいと考えています。</p>
飯塚委員	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について、実施時期の記載がないため、記載した方が良いのではないかと。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおりであり、記載します。</p>
事務局	<p>(4) その他</p> <p>両計画につきまして、12月15日から1月15日までパブリックコメントを実施する予定です。次回の会議では、パブリックコメントの結果報告と概要版について審議いただければと思います。日程につきましては、改めてご連絡いたします。</p> <p>4 閉会</p>